



SDGsプロジェクト



みなさんが普段目にするSDGsの目標ロゴ! 今からはその詳細を個別に紹介していきます!

1 貧困をなくそう



目標 1

貧困をなくそう

目標の内容は2030年までにあらゆる形態の貧困に終止符を打つことです。



貧困とは 困窮ゆえに「当たり前」のことが「当たり前」にできない状況を指します

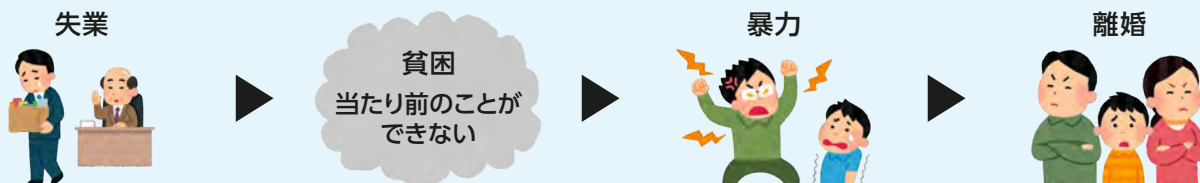
貧困というと皆さんはどんなことを想像しますか?

貧困には単にお金やインフラがない状態だけでなく学校でのお弁当や給食がない、周りの子どもたちと同じように制服を買えない、夏休みにお出かけできないといったような困窮状況も含まれます。

そうやって考えると、貧困は遠い途上国の話ではなく沖縄にも密接に関連する問題だと思いませんか?

貧困は身近に存在する!

貧困と聞くと紛争や内戦が行われている地域の問題と思う方が多いと思いますが、離婚、失業、病気やケガ、災害、教育といった身近な問題が原因で貧困になる方々がいます。反対に貧困が原因で起こる問題もあり、悪いことが連鎖する可能性があります。



私たちは、「何が貧困につながり、貧困が何を引き起こしてしまうのか」を考える必要があります。

恩納村として取り組んでいること

① コロナ禍の事業継続支援

コロナ禍による倒産、失業を防ぐため、持続化給付金等、経営を持続し、労働者の所得を維持できる施策を実施しています。



② 給食費の無償化

家庭の所得状況によらず、恩納村内のすべての子どもたちが平等に給食が食べられる環境整備をしています。



個人でもできること

① 寄付をする (社会福祉法人 恩納村社会福祉協議会)

お金の寄付だけでなく、まだ使えるが使わなくなった学用品や食器、着なくなった洋服、食べられる食材などを提供しよう。



② 孤立化防止

家庭の所得状況などで困っている人を見かけたら、行政や周囲への相談を促すなど、孤立させないようにすることが重要です。



お問い合わせ: 恩納村SDGs推進事務局(企画課内) ☎966-1201 ✉sunna.sdgs@gmail.com



恩納村のSDGs
取組情報